

CASE
01

技術・人文知識・
国際業務

積水水口化工 株式会社



企業概要

代表者 代表取締役 田中 善昭
所在地 滋賀県甲賀市水口町泉 1259
電話番号 0748-62-3857
設立年 1961年
事業内容 中間膜、樹脂、ファインケミカル等の製造および検査、充填、出荷
資本金 1,000万円
従業員数 347名(うち外国人材3名)
URL <http://www.sekisui-minakuchi-kako.com/>



積水化学グループとして、ベトナムの名門理系大学である「ハノイ工科大学」で開催されるジョブフェア(マッチングイベント)を紹介されたことがきっかけです。その際に手を挙げたのが弊社でした。国内の人材獲得競争が激化する傍らで、海外に目を向ければ日本で働きたい優秀な理系人材は多数いらっしゃいます。中でもベトナムは、日本と同様に儒教と仏教の影響を受けており、親や先輩を敬う姿勢、礼儀正しさを重んじる価値観が共通しています。こうした親和性の高さも後押しし、弊社としては初めての外国人材雇用を行うことを決めました。

採用方法・面接のポイント

経験や人柄を重視して採用するために、ベトナム在住の方の選考では日本語能力を不問としています。そのうえで、内定後には1年間ほど現地の日本語学校に弊社負担で通ってもらい、入社までに習得できるよう支援しています。面接時には通訳の同席が必須になりますが、互いに思っていることを母国語で話せるため、下手に日本語で行うよりスムーズかもしれません。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

日本語の学習支援や住居の契約など、生活を開始するまでのサポート体制を新しく整えました。また、入社後に不和が生じないよう、既存の社員への説明も丁寧に行っています。外国人材採用を始めてすぐの頃は、主にコミュニケーションに関する不安の声も上がっていました。一つ一つの意見に耳を傾け、外国人材と配属先の双方が安心して業務に入れるようにすることが大切ですね。入社までのリードタイムに、互いの人柄を知るための入社前交流会を開いたことも安心感の醸成につながったと思います。入社後は弊社で長く働いていただきたいので、キャリアに関する志向性は定期面談で常に把握するようにしています。母国を離れて日本で働いている以上、子育てや介護といったライフイベントの重みが日本人とは異なるでしょうから、可能な限り寄り添いながら環境を整えていきたいという想いがありますね。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

以前は「海外出身の人と働く」という事に対して必要以上に身構えてしまう人もいましたが、一緒に働く中で、そうした壁は自然となくなっていきました。本来は存在しない壁を自分で作り出していたのだと気付かされたように思います。現在、弊社の外国人材はベトナム出身者ですが、他の国の方でも抵抗なく受け入れられる雰囲気になったと感じます。メリットは、彼らの勤勉さに良い影響を受けている社員が多いことです。日本語学習に取り組む姿勢からも明らかでしたが、与えられた仕事に対して非常に積極的で、分からないことは自ら学ぼうとする姿勢には背筋が伸びます。将来的に会社の中心で活躍してくれることが今から楽しみです。



現在働いているメンバーは、いわば外国人社員の一期生なので、これから入社する二期生・三期制が働きやすい環境の土台を一緒に作ってほしいと思っています。それ以外は日本人の社員と変わりません。専門性を活かしてスペシャリストとして活躍する道もあれば、マネージャーとして部下を育てる道もあります。将来的には、それぞれのキャリア志向に沿う形で事業の中核を担ってもらいたいですね。

外国人社員の思い

INTERVIEW



技術者として専門性を磨きます

ファム チュン

出身国 ベトナム
入社年 2022年
職務内容 電気工学系の技術者
在留資格 技術・人文知識・国際業務

紹介動画



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

ベトナムで働いていた日本企業の上司は、相手を尊重した仕事をおこなう方で、「このような企業文化がある国で働きたい」と思ったことがきっかけです。その頃から日本語は勉強していましたが、内定後には日本語の学習費用まで支援してもらえました。

心がけていること

主に製造機械のメンテナンスや安全点検を行っており、ベトナムにいた頃と系統は似ていますが、現在の方が製造ラインが大きいので、万が一問題が発生した際の影響も大きいです。先輩方に教えてもらいながら、自分の仕事を全うしようという思いです。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

現在の業務はメンテナンスが中心ですが、いずれは設備の改良にも挑戦したいです。そのために「実際に商品がどのように作られるか」といった専門外の知識も勉強しています。いずれ会社の中核を担う人材になれるよう、努力を続けていきたいです。

日本(滋賀)で働く魅力について

働く場所としても、住む場所としても、とても良い環境だと感じています。物価は都市部と比較して高くありませんし、ベトナムのような交通渋滞もあまり見られません。自然豊かで四季折々の変化に富んでいる点も気に入っています。日本に来る前は積雪を見るのが楽しみでした。

困り事や、その克服方法

自分に理解できない仕事の勉強で、先輩方は丁寧に教えてくれました。プライベートでは病院の診察に戸惑いました。ベトナムでは24時間診察が一般的で、不便を感じました。ベトナム人の後輩には、しっかりとサポートをしたいですね。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



会社の中核を担うような活躍を期待しています

企画管理グループ 人事課 谷川 晃平

会社にとってどんな人ですか

彼ら自身のキャリア志向が最も大事ではありますが、個性や強みを活かしながら成長してくれることを期待しています。専門性の向上に対するモチベーションが高く、このままスペシャリストとして第一線で活躍している姿を想像できます。リーダーシップを発揮してチームを目標達成に導く、マネジメントの道に進むこともできるでしょう。

一緒に働く上で心がけていること

国籍に関わらず、あらゆる意味で公平な雇用を心掛けています。差別や偏見はもちろん、一方で外国人社員だけを特別扱いするような制度にも慎重です。住居の手配や在留資格関連のサポートといった必須の手続きは当然行いますが、行き過ぎた支援は不公平感につながるだけでなく、外国人社員側も壁を感じてしまう可能性があります。待遇や環境を可能な限りフラットにすることで、互いに対等な仲間であると感じながら気持ちよく働けると信じています。

CASE
02

技術・人文知識・
国際業務

株式会社 松喜屋



企業概要

代表者 代表取締役 西居 基晴
所在地 滋賀県大津市唐橋町14-17
電話番号 077-534-1211
設立年 1949年
事業内容 近江牛肉の小売、卸売り、加工品販売、飲食業（レストラン）等
資本金 1,300万円
従業員数 140名（うち外国人材2名）
URL <https://www.matsukiya.net/>

外国人材雇用の きっかけ

コロナ禍が落ち着いてきて、毎日のように外国人観光客が来店するようになりまし。また2025年には大阪万博も開催され、さらにお客様が増えることが見込まれることから、インバウンド対応強化のため、外国人材の採用を考えるようになりました。外国人材採用は未経験で、ビザの問題などわからない点も多く不安でしたが、どのような在留資格の方を採用したらいいのか等、滋賀県外国人材受入サポートセンターに色々アドバイスをいただき、不安を解消することができて、前に進むことができました。



採用方法・面接のポイント

2022年10月、滋賀県外国人材受入サポートセンターが開催した合同企業説明会に出席し、その時にブースに来て説明を聞いていただいた方の中から、許さんを採用しました。許さんは当時、大阪のビジネススクールに通っており、面接の際には、学校まで出向いて先生にも話を聞き、とても優秀でしっかりとされている方とお墨付きをいただきました。台湾大学を卒業し、TOEICが900点を超えるという大変優秀な方なので、本当に当社で良いのかと何度も確認しましたが、日本の歴史や食文化にとっても興味があり、都会ではなく地方で働きたいということで、お互いのニーズが合致し、採用に至りました。

外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

住居はご自身で物件を探されましたが、保証人が必要とのことで、会社が保証人になりました。交通費支給や食費補填、福利厚生等の制度は、すべて日本人社員と同様です。

入社後2ヶ月間は、色々な部門の人にトレーナーになるよう依頼して現場研修をし、他の新入社員と同様に、ビジネスマナーやテーブルマナー研修にも参加してもらいました。

日本語に慣れてもらうため、日々の振り返りレポートを日本語で書いてもらい、それに対して先輩社員が文通のような形でコメントを記入し、文章の添削を行っています。学習意欲がとても高く、日本人社員も間違った日本語を教えないように気を付けています。

外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

許さんを採用する前は、外国人のお客様とはiPadの翻訳機能を使ってやりとりしていましたが、肉の部位等、食関係の翻訳は誤訳も多く、とても苦労していました。彼女は中国語も英語も堪能で、スタッフが待ち望んでいた救世主のような存在です。モチベーションが高く、外国人のお客様目線で色々接客や誘客についての提案、アドバイスもしてくれ、こちらがいつも勉強させてもらっています。



今後ますますグローバル化が求められる中、許さんには海外広報、宣伝や海外エージェントとの交渉担当として、近江牛や日本の食文化の魅力を積極的に発信して欲しいと思っています。滋賀県へのインバウンド誘客事業とも連携し、牧場見学と合わせた体験型の企画等も実施していますが、観光客の目線に立ち、企画やプロモーションにも携わって欲しいと考えています。今後も外国人材をさらに迎えたいと考えており、彼女には良き先輩として指導役になってもらう予定です。そして、そのような優秀な外国人材がどんどん活躍してもらえるような職場にしていきたいと思っています。

外国人社員の思い

INTERVIEW



日本の食文化を 世界に発信し、海外との 懸け橋になりたいです

許庭璋

出身国 台湾
入社年 2023年4月
職務内容 通訳、翻訳、広報等
在留資格 技術・人文知識・国際業務

紹介動画



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

以前、日本に旅行で来た際、日本の風景や文化が魅力的で興味を持つようになりました。日本で働くために日本語と日本のビジネスマナーを勉強しました。

日本（滋賀）で働く魅力について

日本の空気や風景は美しく、滋賀は山や湖が綺麗で、豊かな自然環境の中で生活するのが魅力です。近くには、休日に楽しめる様々な場所やアクティビティもあり、気に入っています。

心がけていること

自分がお客様の立場ならどんなサービスを期待するか、日本の料理についてどんな説明をすればわかりやすいか等、日々考えて日本の食文化を勉強しています。海外からのお客様が料理を楽しむ笑顔に、やりがいを感じています。

困り事や、その克服方法

接客業の経験がなく、日本語もまだまだなので、苦労もありますが、同僚のみなさんが優しく、とても働きやすい環境です。インバウンド対応のため、逐次通訳する機会も多いですが、毎日頑張ってるようにしています。

日本に来てからの チャレンジ・ これからの目標等

実際に日本に来て、日本人と日本語で交流すること自体が、私にとって毎日のチャレンジです。松喜屋は滋賀の観光振興や地域活性化にも力を入れており、やりがいのある仕事で、私もそれに貢献したいと思っています。私の夢は、異なる国や文化の人々がいい人間関係を築ける機会を作ることです。日本の食文化や魅力を通じて、海外との懸け橋になれるよう頑張りたいと思います。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人客の目線でサービスの アドバイスをもらい、いつも 勉強になります。インバウンド 部門の要の存在です。

原 桃子

一緒に働く上で心がけていること

はじめは異国で緊張されていたので、スタッフから積極的に声かけを行いました。今は毎日、朝礼、夕礼を行い、発言する場を設けています。台湾では親しい間柄で「ありがとう」とあまり言わない文化のようですが、日本文化を説明し、日本人と同じような対応をしてもらうようにしました。気になることがあれば、すぐ話し合っ問題解決をするようにしています。

会社にとってどんな人ですか

現在、インバウンドのお客様が増加していますが、英語に疎いスタッフが多く、通訳、翻訳をしてもらえるので大変、助かっています。初めての外国人正社員ということで、とても新鮮で、海外と日本の文化の差なども教えてくれるので、今までにない知識を見につけることができました。今後、訪日観光客の激増が見込まれる中、インバウンド部門の要といっている存在です。

CASE
03

技術・人文知識・
国際業務

長谷金属株式会社



企業概要

代表者 代表取締役 長谷 健太郎
所在地 滋賀県愛知郡愛荘町島川115番地
電話番号 0749-42-6858
設立年 1964年
事業内容 板金加工製品、溶接・塗装製品、
機械加工製品の製造、販売
資本金 2,500万円
従業員数 45名（うち外国人材20名）
URL <http://hasemetal.com/>



2012年頃、溶接や塗装工程の人員確保に苦勞していたところ、知人から外国人実習生を採用してみようという提案されました。知人の会社がベトナム人を採用していた関係もあり、観光ついでという軽い気持ちでベトナムを訪問し、実習生のための教育施設である日本語学校を見学させていただきました。彼らからひしひしと伝わってくる働く意欲や日本へ行きたいという熱意に感動し、結果、大卒のエンジニア2名と実習生3名を採用することになりました。彼らは真面目で一生懸命動いてくれ、それ以降、毎年2～3人を採用しています。エンジニアは語学も達者で、会社の考え方や方向性等を実習生に伝えてくれるので、エンジニアと実習生という組み合わせでの採用はとてよかったです。

採用方法・面接のポイント

面接では、働く意欲を重視します。なぜ日本で働きたいのか、なぜ弊社で働きたいのか、将来、何をやりたいのかを聞きますが、頑張って日本語で答えようとしてくれる人は好感がもてます。

また、もうひとつ重視するのが協調性です。住まいが共同生活なので、今のベトナム人社員とうまくやっていけるか、先輩の言うことを聞けるか、日本の習慣を守れるかといったところを見ます。能力があっても人間関係で浮いてしまうと長続きしません。真面目に頑張ってくれば、技術は身に付いていくものだと考えています。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

アパートや一軒家を会社で借り上げ、1人1部屋で住んでもらっています。採用した当初は、入社前に家電一式を揃え、入居後はゴミの出し方をレクチャーしていましたが、今は先輩のベトナム人社員がいろいろと教えてくれています。地域で日本語教室があるため、その参加費用を会社で負担しており、日本語検定で資格をとった場合はボーナスを上乗せし、意欲づけにしています。その他プライベートでは、皆でBBQをしたりお花見に行くなどして、交流を深めています。

当初から家族を迎えたつもりで日々接していますが、毎年、私の妻のために母の日の花とプレゼントを持ってきてくれるその優しさを嬉しく思います。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

日本人だけと言葉数が少なくなりがちですが、彼らがいることで会話が増え、笑顔も生まれて社内の雰囲気明るくなりました。ベトナム人社員で作ったサッカーチームで、会社の名前を冠した杯を実施してくれ、日本人社員と一緒にプレーする等、連携していいチームプレイになっていると感じます。日本人同士だと、「仕事は見て覚えろ」という感覚がありますが、ベトナム人社員は、自分達が苦勞しているので教え方も丁寧で、新入社員がすぐ仕事を覚えてくれるようになりました。彼らの活躍に日本人社員も良い刺激を受けています。



現在、社員の半分はベトナム人で、日本人とベトナム人の双方の活躍がなければ会社は存続しないといっても過言ではありません。外国人材の採用にコストダウンという意識は全くなく、会社の発展のために大いに活躍して欲しいと思っています。今後は、ベトナム人の社員からも社を引っ張ってってくれる部課長が出てきてほしいです。また、将来的に海外で事業展開をすることがあれば、彼らのパワーを借り、共に挑戦、成長していきたいと考えています。

外国人社員の思い

INTERVIEW



私にとって日本は 完璧な場所です

グエン ヴァン ガン

出身国 ベトナム
入社年 2020年2月
職務内容 レーザー加工機のCAD/CAM
プログラム作成を担当
在留資格 技術・人文知識・国際業務

紹介動画



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

ベトナムの工業大学を卒業後、約1年間、日本語を勉強し来日しました。希望の収入を得るため、また、日本語をもっと勉強したいと思い、来日しました。

日本（滋賀）で働く魅力について

電車など交通機関が発達していて、日本中どこにでも行けるのが魅力です。休日は他府県の友達と会い、様々な場所へ旅行するなど、日本での生活を楽んでいます。

心がけていること

社内のムードメーカーとなり、日本人とベトナム人の橋渡し役になるよう努めています。

困り事や、その克服方法

日本に来た当初は言語や文化の違いがあり、苦勞しましたが、先輩から丁寧に指導いただいたおかげで、1年経過した頃から、仕事も生活も順調に進むようになりました。悩み事はベトナム人の同僚や上司（部長）に相談しています。

日本に来てからの チャレンジ・ これからの目標等

今では日本語がかなり上達し、難しいプログラムでも自分一人でも対応できるようになりました。次の目標はCNC加工機のプログラム作成をマスターすること、日々、日本語勉強を頑張り、日本語検定2級を取得することです。将来的には、長谷金属の技術部長が、ベトナム支店が開設された場合は、その支店長になりたいと思っています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人材は貴重な戦力 彼らなしでは 会社は存続しません

生産統括部 部長 大西 俊之

一緒に働く上で心がけていること

生まれも育ちも異なるため、「当たり前」はなく、何事も丁寧な説明を心がけています。入社後1年間は、毎日15分のミーティングを実施し、仕事の進捗だけでなく不安に思うことなどをヒアリングし、相談に乗りました。

会社にとって どんな人ですか

彼は日本人社員とも積極的に交流し、社内の雰囲気を明るくしてくれています。エンジニアの彼には、ベトナムにいる際から週に一度、図面展開の宿題をだして指導をはじめ、入社後はチェック体制を整えたうえでどんどん実践に挑戦してもらいました。弊社には生産工程や加工設備が多くあるため、ハンガリー精神旺盛で何事にも積極的に挑戦する彼のような人材は大歓迎です。

CASE
04 特定活動46号

一般財団法人 滋賀YMCA



企業概要

代表者 総主事 久保田 展史
 所在地 滋賀県近江八幡市鷹飼町537-3
 電話番号 074-833-2420
 設立年 1950年
 事業内容 国際教育活動、語学教育事業、学童保育事業、発達支援事業、野外活動・体育事業等
 資本金 なし（一般財団法人のため）
 従業員数 45名（うち外国人材3名）
 URL <http://www.shigaymca.org/>



我々「学童保育事業部門」では、お預かりしている子どもたちの多様性を育みたいと思い外国人職員を採用しました。滋賀県で暮らす外国人材の数は増加しており、将来的には多様なルーツを持つ子どもが同じ教室で過ごしている光景が普通になるかもしれません。YMCAは年齢・性別・人種・国籍・肌の色・障がいの有無など異なる背景を持った人々が共生し、平和に暮らせる社会を目指しています。外国人職員とのふれあいを通じて、子どもたちが「多様な文化を持つ人が共に過ごすことは当たり前」だと感じられるような環境を提供したいと考えました。

採用方法・面接のポイント

何より重視しているのは人柄です。子どもたちの手本となれる方かどうかは、実際に応募者とお会いしてみなければ判断できません。そうした事情から、多くの方と現場でお話できる滋賀県主催の「留学生等外国人材向け合同企業説明会（運営：滋賀県外国人材受入サポートセンター）」が助けになりました。実際に採用した方も説明会で出会った人です。現代の社会に対して自分の考えを持っているか、それを言葉で説明できるかを見極めるようにしています。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

特別な準備はしていません。基本的には日本人と同様に雇用しています。しかし、そもそも外国人材が「日本人と同様」の条件で働くためにはさまざまなハンデが存在しています。住居の手配や語学学習費のサポートなど、日本で働いてもらう上で必要なサポートは手厚く行いました。

特に日本語は周囲の配慮が必要不可欠です。たとえば、急いでいる保護者の電話対応は一朝一夕では行えません。成長の機会を奪わないようできるだけ自力でがんばってもらいつつ、本当に困ったときはいつでも頼ってほしいと伝えています。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

外国出身の保護者の方もいらっしゃいますので、立場の近い職員がいることで、より安心してお子さんを預けていただけるようになったのではないかと感じています。

また、子どもたちが「你好（ニーハオ）」「See You」と自然に外国人職員とあいさつを交わっている場面も増えました。外国語で話している友達を茶化すようなこともなく、当たり前相手の言語や文化を尊重する雰囲気も生まれており、まさに異文化共生の実現です。さまざまなバックグラウンドの職員ががんばってくれているおかげですね。



外国人材雇用において最も大切な心構えは、外国人職員に日本への同化を強要するのではなく、周りの人間が人材をどう生かしていくかだと考えています。無理やり日本人同様になることを強要するのではなく、自国の文化や考え方を披露してもらい、周りも学ぶことで国や民族の壁がなくなってゆくと考えます。言葉も同様です。日本語を話す力・コミュニケーション力を磨いてもらうことは大切ですが、あいさつやレクリエーションに母国語も使用してもらうことで、周りもその人の国の言葉を理解できるともよい効果が生まれています。

外国人社員の思い

INTERVIEW



日本が好きです。そんな日本で働ける喜びを感じています

唐暢

出身国 中国
 入社年 2024年4月
 職務内容 学童保育
 在留資格 特定活動46号



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

異文化を学び、人生の選択肢を増やすためです。中国は厳しい学歴社会で、進学によって人生が左右されるといっても過言ではありません。選択肢として「留学」があり、異文化や多様な価値観に触れることで自己成長につなげることができます。

心がけていること

子どもたちが自分の知らない遊びをしているときは積極的に話しかけ、教えてもらい一緒に遊ぶようにしています。信頼関係を築きながら、居心地の良い居場所をつくれるように心がけています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

勉強と仕事です。慣れない環境のなかで、目に見える成果を出そうと必死に努力をしました。やはり、中国とは違う部分も多いので苦労もたくさんしましたが、たくさん助けられた部分もあります。これからは恩返しの意味も込めて、仕事でより多くの成果を残し、日本で安定した生活を送りたいと思っています。そして、「こんな環境で働いているんだよ」と中国にいる家族を日本に連れてきたいです。

日本（滋賀）で働く魅力について

自然を身近に感じられることです。

癒されたいときは琵琶湖に足を運びますし、少し足を伸ばせば京都にも行けるので、ショッピングやお寺巡りとといった遊び方も可能です。オンとオフのメリハリをつけながら、充実した日々を送ることができ、最高の環境だと心から感じています。

困り事や、その克服方法

一番困ったのは「関西弁」です。子どもたちが日常的に使う関西弁は、学校で習った日本語と大きく異なります。周囲の職員が丁寧に教えてくれて聞き取れるようになりました。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人材の雇用を通して、異文化共生の実現を目指しています

総主事 久保田 展史

会社にとってどんな人ですか

自らの考えに基づいて主体的に動くことができる一方で、施設のルールを尊重するバランス感覚も持ち合わせています。そうした優秀さに加えて、彼女だからこ伝えられる視点や経験を持っています。子どもたちに自身の経験を語り、多様な価値観に触れる機会を提供してほしいと期待しています。

一緒に働く上で心がけていること

すぐに答えを教えるのではなく、自ら考えてもらうことを大切にしています。たとえば、言葉の語尾について適切な日本語表現が分からず、言葉に詰まってしまう場面が見受けられます。たとえば「明日の朝は遅い…」といったとき「遅い出勤なんだよね?」とフォローしたくなる気持ちを抑えるようにしています。語尾をあいまいにせず最後まできっちり話す習慣をつけてほしいのです。子どもたちが憧れる素敵な職員になってもらうために、最後まで辛抱強く待つよう職員一同心がけています。

CASE 05 介護 | マザーレイク株式会社



企業概要	
代表者	代表取締役 片岡 理佐
所在地	滋賀県大津市黒津一丁目6番18号
電話番号	077-536-3901
設立年	2001年
事業内容	グループホーム・デイサービス・訪問介護・居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護等
資本金	1,000万円
従業員数	73名(うち外国人材3名)
URL	https://grouphome.jp/



日本は人口減少が続いており、このままでは介護業界だけでなく日本全体の人材不足が懸念されております。介護分野でも外国人材の受入れが可能になり、現場での活躍が期待されています。他国でも高齢者を敬う文化は多くあり、お互いの利点を取り入れたいことから、いち早く外国人材採用に着手しました。数社の監理団体から外国人材への想いが共有できる団体と契約し、2019年にベトナムから1期生・1名の採用からスタートし、現在は、介護1名(ネパール)、特定技能1名(ベトナム)、技能実習生1名(ネパール)合計3名の外国人の方にお仕事してもらっています。



採用方法・面接のポイント

外国人材採用については、トップの判断だけでなく、現場の担当者にも同じように意識をもってもらえることが大切です。スムーズに現場で受け入れられる下地を作るため、1期生の時は、担当者に現地ベトナムまで赴いてもらい面接を実施しました。ここ数年、コロナで現地へ行くことはできなくなりましたが、ZOOMで面接が行えるようになってからは、面接に入る担当者の数も増やし、実際に採用になった時に双方が仕事をしやすくできる環境が整ったようにも思います。当社では、国籍は問わず、求めるのは協調性であり、一緒に頑張ってくれる人で、やはり人柄を重視しています。

外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

住居は、はじめはワンルームを準備しましたが、田舎は賃貸物件も少なく、外国人の入居を断られるケースも多いため、今は会社で家を買って、リフォームして3人で住んでもらっています。外国人材雇用について、はじめスタッフは皆、戸惑いを見せましたが、全体会議で出身国についての文化習慣を勉強し、受け入れ体制を整えていきました。

外国人材の入社後は、市販の教材を使って毎日15分、日本人スタッフが日本語を教えたり、介護の資格取得に向けサポートをしたりしています。またアイパッドの翻訳機能も活用しています。彼女達が習ってきたのは標準語なので、関西弁はわかりづらく、テキストもないというのが悩みどころです。

自宅と職場の往復だけでは淋しいので、休日には京都のお寺やUSJと一緒にいくなど、仕事以外の楽しみも作るように配慮しています。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

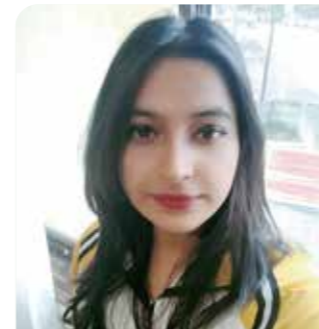
真面目で一生涯懸命やる姿勢が、日本人スタッフにもいい影響を与え、モチベーションがあがっていると感じます。いろいろな人を受け入れようという姿勢も皆の中に強くなってきていると思います。言葉の壁があり、ニュアンスを伝えるのが難しいこともありますが、より丁寧に噛み砕いて説明するようにしています。本来、日本人スタッフにも、「常識だからわかるだろう」と考えるのではなく、きちんと説明してあげるべきで、指導する側としても勉強になることが多いです。「ゆず湯」など季節行事をすると、利用者の方が、外国人スタッフに日本文化について教えてくれることもあり、利用者の満足度に貢献するという側面も見られます。



技能実習生の受入れは、管理組合への手数料や住居の準備、介護以外の日本語の勉強を教える時間の確保など、いろいろなコストが発生しますが、それを考えても、メリットの方が多いと感じます。技能実習生には期限がありますが、リザル・サビナさんのように、より高度な介護の資格を取得して、長く日本で仕事をしてもらい、長く滋賀県に定住して欲しいと思っています。

外国人社員の思い

INTERVIEW



優しい介護福祉士を目指しています

リザル・サビナ

出身国	ネパール
入社年	2021年4月
職務内容	高齢者介護
在留資格	介護



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

日本のアニメが好きで、ネパールの大学で1年間、日本語を勉強し、その後2年間、ビジネスの勉強をした後、2017年頃に日本に来ました。

心がけていること

高齢者のお世話を丁寧にすることで、まわりの助けになればと思っています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

一番にチャレンジしたことは、関西弁を話すことです。この仕事に就いて、周りの人のことを注意深く見て、小さなことも気づけるようになりました。今後は優しい介護福祉士を目指していきたいと思っています。

日本(滋賀)で働く魅力について

私は人のお世話をすることが好きで、高齢者が多く、介護をする人が少ない日本で働くことは魅力に感じました。

困り事や、その克服方法

車を持っていないため、ショッピングに行くのが大変なことです。悩みは先輩や友達に相談しています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



外国人材雇用は、様々な考えを持つ人を認め合うきっかけになると思います

中尾 圭介

会社にとってどんな人ですか

リザル・サビナさんは入社後2年経ち、早出・日勤・遅出・夜勤と全ての仕事をこなせるようになりました。外国人材にお世話してもらうことを受け入れにくいご利用者に対しても、何度も話しかけて受け入れてもらえる関係性を築けており、とてもガッツがあり、周囲に良い影響を与えてくれています。シフト調整で困った時は必ず相談に乗ってくれ、対応もしてくれる頼りになる存在です。また、高齢者を敬う気持ちが日本人より強いのか、ご利用者との関わり方を見て、自分自身の日々の関わりを振り返ることもあります。文化の違う外国人材雇用が当たり前になることで、日本人でもいろいろな個性の人を受け入れることが容易になるように感じます。様々な考えを持った人間がいて当たり前で、そのことを認め合うことのきっかけになるのではと思います。

一緒に働く上で心がけていること

基本的には日本人と同じようにOJTで指導する他、日本語の勉強の時間も設けています。休憩時には「買い物はどこですか?」など、なるべく答えやすい質問をしてコミュニケーションをとっています。夢を持って日本に来てくれるので、その実現に向けてお手伝いをし、気持ちよく働いてもらえるよう努めています。

CASE
06 特定技能

社会福祉法人雪野会 万葉の里



企業概要	
代表者	理事長 寺島 嘉孝
所在地	滋賀県蒲生郡竜王町大字山之上 632
電話番号	0748-57-2100
設立年	1994年
事業内容	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、デイサービス、居宅介護支援等
資本金	なし(社会福祉法人のため)
従業員数	160名(うち外国人材4名)



滋賀県内でも少子高齢化は深刻であり、特に介護業界は「利用者の増加」と「職員の平均年齢上昇」という直接的な課題に見舞われています。当施設も例外ではなく、健全な運営を続けていくためには、日本人だけでなく外国人材も積極的に採用する必要があると考えました。やはり、人手不足を解消し、利用者の方々に安心した環境を提供したいという想いが強かったですね。

採用方法・面接のポイント

弊社の特別養護老人ホームで活躍しているタイ出身のベルさんは、「特定技能」の在留資格で働きながら「技能実習指導員」の講習を受けて合格するほど優秀で意欲的な方です。現在はベルさんを中心に、さらなる外国人材の採用強化を進めています。すでに働いている外国人職員の意見に耳を傾け、採用の方法を改善していくことで、次に来る外国人材の方の「安心感」を醸成できればと考えています。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

電化製品や自転車など、日常生活に必要な物品を施設側で用意しました。住居は本人から希望があった外国人住居者の多いアパートに住んでもらっています。

日常的なサポート体制としては、特に言語面のサポートを重視しています。来日する外国人材は通常「標準語」を学んでいますが、我々が使用するのはいわゆる「関西弁」です。職員同士であれば、分かりやすい表現を意識して会話することもできますが、施設を利用しているお年寄りに強要するわけにはいきません。コミュニケーション上の行き違いは不満につながりますから、分からない言葉や違和感があればすぐに相談してもらい、できるだけ問題が発生する前に解決するように心がけています。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

最も大きな変化は、施設の雰囲気がとても明るくなったことですね。ベルさんの明朗な人柄が、職員と利用者の方の双方に良い影響を与えています。介護の仕事は大変なことも多いのですが、どんな時も弱音を吐かず笑顔で働いてくれて、周囲の職員も自然と励まされます。利用者の方からもベルさんは大人気で、彼女が休みの日には「今日はベルさんいないの?」と残念がられるほどです。また、介護の仕事に誇りを持ち、若い力を発揮して働いてくれる彼女の姿は、われわれ日本人の職員が仕事に対する姿勢や後進を育成する大切さを見直すきっかけになりました。



多様性の強化に大きな期待を寄せています。すでに、従来の枠にとらわれない新たな発想を仕事に取り入れてくれていて、周囲の職員の考え方も柔軟になったと感じています。われわれが思いも寄らぬアプローチで利用者に寄り添い、絶大な信頼を得ているので勉強になりますね。極端な例ですが「利用者が楽しみにしているお昼の歌番組に自分も出場する」と宣言した際は行動力に驚かされました(笑)。互いの良い点を吸収し合いながら、施設全体を良い方向へ導いていってくれることを期待しています。我々も外国人材とともに、変化を恐れずさまざまなチャレンジを重ねていきたいです。

外国人材の思い

INTERVIEW



日本とタイの架け橋になります

プレーパン チャンピタック
(ベルさん)

出身国 タイ
入社年 2022年10月
職務内容 高齢者介護
在留資格 特定技能(介護)

紹介動画



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

タイでは社会保障の仕組みが整備されていません。親や親戚に何かあった場合は、仕事を辞めて介護に専念しなければなりません。この状況を変えたいと思い、未経験ではありましたが、介護の仕事をしっかり学びたいと思い来日しました。

心がけていること

言葉遣いには特に気を配っています。利用者の方の満足度に直結する重要な要素だと考えているからです。敬語や同音異義語を使いこなすのは大変ですが、同僚の方々に都度教えてもらいながら日々勉強しています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

一番のチャレンジは、介護職種の「技能実習指導員」の試験を受けて合格したことです。すべて日本語での試験だったので、なかなか難しいチャレンジでしたが、合格するために毎日勉強しました。次は、介護福祉士の資格を取るためにもっと頑張りたいです。

日本(滋賀)で働く魅力について

人は優しいですし山や琵琶湖が近くにあるので、休日は自然に囲まれてリフレッシュできます。また、滋賀県内で外国人材向けの無料勉強会が多数開催されているので、他の施設で働いている方との交流機会も多くあり、初めて日本に来る方におすすめの環境だと思います。

困り事や、その克服方法

方言を理解するのに少し時間がかかりました。たとえば「えらい」という言葉。私たちが習った意味は「地位や身分が高い」という意味ですが、関西弁の場合は「大変」という意味もあります。メモして見返すことで克服していきました。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



施設にとってかけがえのない太陽のような存在です

管理者 ケアマネジャー 門坂 松代

会社にとってどんな人ですか

施設全体の雰囲気が明るくなり、利用者の方がベルさんとのコミュニケーションを楽しんでいる様子も多く見受けられます。仕事に対する意欲も高く、今のグループホームでの仕事だけでなく、特養や老健などの施設でさまざまな仕事に挑戦してくれる姿勢が、他の職員にも伝わって施設全体が変わろうとしています。

一緒に働く上で心がけていること

メリハリをつけるようにしていますね。ベルさんは何事にも積極的に「こんな仕事がいい」と自分から提案をしてくれます。そうした自主性を尊重し、本人と施設の双方が成長できるようサポートしながらも、厳格にすべき部分はきちんと指導しています。たとえば、言葉遣いや礼儀がいいかげんだと、利用者の方が不快に感じてしまう恐れがあるので、コミュニケーションに関する意識は一定の基準を保ってもらえるようにしています。

CASE 07 技能実習 | サイチ工業株式会社



企業概要	
代表者	代表取締役社長 山本 彰
所在地	滋賀県大津市平野3丁目1番11号
電話番号	077-561-9811
設立年	2004年(創業1907年)
事業内容	金銀糸の製造販売・真空蒸着製品、各種コーティング製品の製造販売(国内・輸出)
資本金	2,000万円
従業員数	219名(うち外国人材7名)
URL	https://saichi-kk.co.jp/



銀行から監理団体を紹介されたのがきっかけです。当時はそれほど人手不足ではなかったのですが、社長が新しい取組に熱心で、将来的に人材不足になるだろうという予測もあり、2018年に初めてインドネシアから技能実習生4名を受け入れました。インドネシアには取引先もあり、将来的に橋渡しの様な役割を担ってもらえる可能性もあると考え、採用を決めました。



採用方法・面接のポイント

現地の日本語学校で学ぶ方の中から20人ほど当社に合いそうな方を候補に挙げてもらい、社長が自ら現地に赴いて面接を行い、4名を採用しました。採用のポイントは「元気で笑顔のいい方」で、その中の一人はリーダー格となる25歳の穏やかな方を選びました。監理団体は、インドネシア政府認定送出国機関で、日本語学校に入学するハードルも高く、しっかりした人材が集まっています。

外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

初めての外国人材の受入れで、何をしていたかわからず、監理団体のサポートを得て、住居や家財道具一式、自転車、食料品等を準備しました。住居は借り上げの3DKのアパートに2人ずつ入居してもらい、昨年、外国人材が結婚された際は、当社の就業規則に則って、夫婦で入れる社宅を準備しました。入社当初はたどたどしい日本語で、コミュニケーションをとるのも難しく、世話役である総務課長と一緒に買い物に行ったり、外食をしたりしました。歯医者や耳鼻科に行く際は、付き添いで行くこともありました。また、イスラム教の方は豚肉が食べられないので、お昼のお弁当は豚肉抜きのもので対応しています。仕事のシフトで一緒になる日本人社員も、しっかり指導ができる面倒見のよい社員を選り、業務後にその社員にヒアリングして、実習生達の業務の理解度を測りました。福利厚生は日本人社員と同様で、ボウリング大会やバーベキュー、飛騨高山への旅行や餅つき大会などに参加してもらっています。

外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

アノムさんをはじめ外国人材の方々は皆、真面目で丁寧で元気が良く、現場に活気が広がっています。仕事に対して前向きで、向上心をもって取り組んでくれており、最後まで諦めずにやり通そうという姿勢が、日本人社員にも良い影響を与えています。新しい風を吹き込んでくれて、とてもいい雰囲気になりました。



2018年に入社した1期生4名は、皆、実技試験をクリアして技能実習3号として継続して働いてもらっており、直近では2022年に計12名の技能実習生を受け入れています。1期生の4名は先輩として、技能実習生の手本となるよう基礎を磨き指導役としても活躍してくれており、とても頼もしい存在です。

外国人材の思い

INTERVIEW



日本で学んだことを活かして母国で起業したいです

アノム トゥマリイマム

出身国 インドネシア
入社年 2018年9月
職務内容 工業包装
在留資格 技能実習



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

先輩から日本のことを聞いて興味を持ち、優れた製品を多く生み出す日本人は、どんな考え方や行動をしているのか勉強したいと考え、日本で働きたいと思いました。来日前には、日本語学校を含め約1年間、日本語を勉強し、日本の文化や習慣を学んだり、健康管理のために、運動もたくさんしました。

日本(滋賀)で働く魅力について

住居の周りにはスーパーやコンビニ、飲食店、病院があり、駅にも近いので京都、大阪、名古屋にも日帰りで行くことができ、とても便利で満足しています。釣りが趣味で、琵琶湖や川などの自然が身近にあるのも気に入っています。

困り事や、その克服方法

はじめは日本語が難しく、特に関西弁は自国で習ってきた標準語の日本語と違うので苦労しましたが、積極的に会話し、勉強して解るようになりました。仕事の手順を覚えるのは大変でしたが、今は慣れたので大丈夫です。仕事の相談は課長や係長、職場の人にすぐ聞くようにしていますが、皆さん、とても優しく接してくれます。

心がけていること

時間をきちんと守り、「ホウレンソウ」を必ず行うようにしています。指差呼称を実施して安全第一に仕事をし、何度もチェックして問題が起こらないように気を付けています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

日本に来たこと自体が大きなチャレンジでしたが、シフト内では実習生は自分一人であったため、すべて日本語で日本人と一緒に仕事をしたこともチャレンジでした。時間をきちんと守ることも自国とは違う文化で、日本で身についた変化です。インドネシアでは仕事が少ないので、将来は小さくてもいいので自分の店が会社を作りたいと思っていますが、できればもう少し、この会社で延長して働ければ嬉しいと思っています。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



会話が上手でコミュニケーション力があり、前向きな姿勢が社内にも良い影響を与えています

製造本部 蛸田製造2課課長 豊田 勇太

一緒に働く上で心がけていること

資料にはひらがな、カタカナを振り、専門用語を簡単な言葉に変換して、内容を理解してもらいやすくしています。製造業は安全第一なので、まずは安全ルールを徹底し、安定品質維持のため、いかに作業標準を守る事が重要かを説きながら指導しています。

会社にとってどんな人ですか

アノムさんは外国人材の中でも特に会話が上手でコミュニケーション力があり、配属チーム内だけでなく、全体のムードメーカー的な存在で、皆から愛されています。来た当初は日本語がたどたどしく、会話に苦労しましたが、解らない言葉を毎日メモして日本人に聞き、自分から積極的に話したり聞いたりしてくれて、どんどん会話が上達していきました。勉強熱心で前向きな姿勢が、周りの人にもとても良い影響を与えています。

CASE
08

技能実習

エムズホールド株式会社



企業概要

代表者 代表取締役会長 前田 武憲
 所在地 滋賀県草津市木川町1595
 電話番号 077-574-8276
 設立年 1997年
 事業内容 住宅リフォーム・外壁、屋根の塗装、足場工事
 資本金 500万円
 従業員数 16名（うち外国人材4名）
 URL <http://mshold.com/>

外国人材雇用のきっかけ

2015年頃、日本人の採用がなかなかうまく進まず、労働力強化のため外国人材雇用を検討しました。同業の知人に相談し、日本人に考え方が比較的似ていて、家族を大切にしているインドネシア人がいいのではと勧められ、監理団体を紹介していただきました。面接は現地とオンライン（スカイプ）で繋いで実施し、2名の採用を決めました。



採用方法・面接のポイント

現地まで赴いて面接を行ったこともありますが、オンライン面接で十分対応できることがわかり、今はスカイプで面接しています。採用は2年に1度の頻度で、初めの半年間は作業を見ながら覚えてもらい、次の1年は新しい人材への引き継ぎも兼ねながら働いてもらっています。お互いに母国語が異なるため、意思疎通が回りやすい内容のヒアリングを心がけているのが面接のポイントです。趣味や日本について知っていることなど、プライベートなことも話題に出すようにしています。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

社宅や家具、通勤のための自転車など、生活面をサポートするものを全般的に準備しました。また、社員に対しては、外国人材を雇用する意味を事前に周知し、受入れの心構えを共有化しました。入社後は、月1回の定例会議と、その後の食事会の他に、年4回、ボーリングやサッカー大会、慰安旅行等のレクリエーションを実施して社員全員の親交を深めています。また、毎週土曜日にレンジャーの恰好をして、近隣の清掃活動も一緒に行っています。

文化的な背景が違うので、インドネシアでの禁止事項（例えば豚肉やアルコール類の禁止等）などを聞き、禁を破らないよう、社員皆で気をつけています。会社では月1度、広報紙を発行していますが、それをグーグル翻訳等を使って母国語に翻訳し、インドネシアの家族に送って、安心してもらっています。



外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

彼らの真面目に働く姿勢は、日本人社員の刺激になり、レベルアップにも繋がっています。当社は20代の社員がほとんどですが、外国人材を教える立場になり、責任感が強くなりました。人数が増えたことで社員同士の会話が増え、雰囲気も明るくなりました。労働力がアップしたことにより、ゆとりが生まれ、心の豊かさにも繋がったと感じています。

外国人材に期待すること



外国人材は、仕事に対する考え方が日本人と異なり、残業をほとんどせず、作業工程に関わらず昼の休憩時間を午後12時ちょうどの取るなど、当初はズレも感じましたが、段取りの工夫や話し合いで対応し、時間管理を徹底するようになりました。考え方の違いで気が付いたことも多く、会社としてもとても勉強になりました。

外国人材の採用にはコストや手間がかかることもありますが、その投資があつてこそ売り上げの拡大に繋がっています。社員の成長や会社の成長にとって、彼らは必要不可欠な存在です。

外国人社員の思い

INTERVIEW



帰国してからもエムズホールドと関わってみたいです

アアー

出身国 インドネシア
 入社年 2019年8月
 職務内容 仮設足場の組立、解体等
 在留資格 技能実習



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

日本の文化や日本人の働き方を知りたくて来日しました。日本語の勉強に加えて、メンタルやフィジカルを鍛えるよう努力しました。

日本（滋賀）で働く魅力について

日本人の皆さんはとても優しいです。私たちは外国人ですが、社員寮周辺の住民の方々はフレンドリーでいつも優しくしてくれ、嬉しく思っています。

心がけていること

後輩の実習生たちの指導をしています。また、日本語がもっと上達するよう、YouTubeなども利用して勉強しています。

困り事や、その克服方法

日本に来て初めは何もかもわからず苦労しましたが、今では仕事や日常生活にも慣れてきました。今、困っていることは特にありませんが、悩みがあれば友達や会社の人に相談できます。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

仮設足場の仕事自体が初めてのチャレンジで、毎日が勉強でした。日本語能力試験（JLPT）のN4試験に、今まで4回不合格になりましたが、先日、ようやく試験に合格して嬉しかったです。将来は人の役に立つ人になりたいです。また、インドネシアに帰国後も、エムズホールドと関わってみたいです。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



従業員は皆、大切な家族のような存在だと思い、接しています

代表取締役社長 岡野 涼輝

一緒に働く上で心がけていること

できるだけ沢山話しかけ、コミュニケーションをとるようにしています。レクリエーションでしたい事や行きたい場所も、普段の会話の中から聞き出し、USJ等の旅行先を決めています。代表取締役の考えの通り、従業員は運命共同体で、家族のような存在だと思っており、一人ひとりの人間力を高めるお手伝いができればと思っています。

会社にとってどんな人ですか

彼らは大変やる気があり、とてもよく動いてくれるので助かっています。顧客や関係先の方の中には、はじめは外国人材が働いているのを見て驚く人もいましたが、一生懸命に働いている姿を見て、認めてくれるようになりました。彼らに助けられることも多く、当社にとって欠かせない大切な存在です。

CASE
09

技能実習

株式会社 光真製作所



企業概要

代表者 代表取締役 池田 英智
所在地 滋賀県草津市北山田町739-2
電話番号 077-563-7152
設立年 1981年
事業内容 エレクトロニクス組立・配線
資本金 1,000万円
従業員数 81名(うち外国人材5名)
URL <http://www.koss.co.jp/>

外国人材雇用のきっかけ

当社は2003年にフィリピン工場を開設し、日本の工場と連携して生産していますが、フィリピン工場の品質に課題が発生し、日本の技術を習得してそれを現地で活かしてもらうため、2015年頃に外国人材の受入れを開始しました。1度に2~3名を受入れています。



採用方法・面接のポイント

外国人材は、自社のフィリピン工場のメンバー40名強の中から、人選して来てもらっています。人選のポイントは日々の出勤率や業務態度などです。弊社関連会社からの受入れなので、「企業単独型」方法で直接、当社が受け入れることができ、監理団体にかかる費用が発生しないのがメリットですが、その分、入国後の講習や手続き等、自社でやらなければならない大変な点もあります。今は、監理団体を通じて来てもらっている人と半々です。監理団体経由ですとコストはかかりますが、日本語が少し話せる状態で派遣していただき、教育機能が充実しているというメリットがあります。



外国人材雇用にあたり準備したこと・サポート体制

社宅や家具、自転車等の準備のほか、携帯電話も支給し、母国の家族との連絡用に使ってもらっています。社宅はアパートを借り上げた共同生活で、お米を1か月に30kgほど支給しています。音楽がうるさいという苦情が出たことがあり、ゴミの出し方なども含めて生活習慣の違いを理解してもらうようにしています。

コロナ禍で一時、できなくなりましたが、USJへ一緒に行ったり、BBQや親睦会を開催して社内メンバーとの交流を深めました。コミュニケーションをしっかりととり、問題があれば、すぐ対応するように努めています。

外国人材を雇用したことで得られた変化・メリット

技能実習生に技術を習得して持ち帰ってもらったことで、フィリピン工場の製品の受入れ検査工数が半分になりました。以前は写真とメールを使い、英訳も必要で、現地とのやりとりで時間がかかっていました。今は不具合があった際などもオンラインで敏速にやりとりができるので効率がとてもよくなりました。技能実習生は仕事に対する姿勢が日本人より熱心で、一生懸命働いてくれているので、それを近くで見ているまわりの社員のモチベーションアップにも繋がっています。



当社は自社のフィリピン工場から実習生を受入れているので、日本で習得した技術を、帰国してからそのまま現地工場で活かすことができるのが最大のメリットです。習得した技術を活かし、フィリピンの工場のさらなる発展に貢献してもらえればと期待しています。日本でいろいろな仕事にチャレンジして、たくさん経験していただき、技術の向上、知識の向上に繋げて欲しいと思います。

外国人社員の思い

INTERVIEW



将来的には、この会社のマネージャーになりたいです

アポロス ラスピナス

出身国 フィリピン
入社年 2021年1月
職務内容 電子機器の組立
在留資格 技能実習

紹介動画



日本に来たきっかけ・来日までにした準備

フィリピンの工場で4年間働き、優秀な社員ということで技能実習生に選ばれた時は嬉しかったです。2年前から日本語を勉強し、来日前の2か月は、毎日仕事終了後、2時間勉強しました。今も毎日、少しずつ勉強しています。

日本(滋賀)で働く魅力について

日本人は親切で親しみやすいので安心です。滋賀県はフィリピンと風景が似ていて、平和で便利なところです。アパートの近くには公園やお店もたくさんあります。休日は、同僚と一緒に、自転車や車で美しい場所へ出掛けて楽しんでいます。日本は給料が高いのも魅力です。

心がけていること

細かい作業が好きで、電子機器の組み立てに興味があり、この会社に入りました。手順書どおりに組み立てできているかをいつも気にかけています。顧客の満足度が高い製品をつくり、顧客にも社にも役立てればと思っています。

困り事や、その克服方法

1月に来日したので、日本の寒さに驚き、洋服をたくさん買いました。困っていることは特にないですが、あれば先輩や池田部長に相談できるので支障ありません。家族(子供)と離れているのは寂しいですが、1日に2~3時間電話をしてコミュニケーションをとっています。

日本に来てからのチャレンジ・これからの目標等

いろいろな知識を養え、専門的で複雑な仕事を学ぶ機会に恵まれ、成長することができました。3年後はまたフィリピンに帰り、この企業で働きたいと思っています。仕事は難しいと思いますが、将来的にはマネージャーになりたいです。

職場の社員・上司より

INTERVIEW



彼女は日本人社員と実習生のパイプ役で、とても重要な存在です

取締役
製造部部长/品質管理課課長 池田 篤史

一緒に働く上で心がけていること

日常の中で声掛けをし、コミュニケーションを取ることで、相手が話し掛けやすくなっています。一部社内資料を英語化し、共通認識ができるようにしています。会話は、スマートフォンの翻訳機能等も活用しています。

会社にとってどんな人ですか

日本語がかなり上手なので、日本人社員と実習生のパイプ役になってくれる重要な存在です。今後は技術力をもっと上げて、さらにいろいろなものを習得していってくれればと思います。日本では、人材が集まらなくなってきています。その中で外国人実習生は、元気いっぱい、まじめで、向上心を持って仕事に取り組んでくれており、とても心強い戦力です。